

NEIGHBORHOOD ASSOCIATION

自治会
住みよいまちづくりを目指して



自治会とは

自治会とは、住みよいまちづくりを目的に、自主的な活動を行う住民自治組織です。

町・字や団地など、隣近所の人々が互いに協力し、親睦を深め、地域内に生じる課題の解決に取り組みながら、さまざまな活動を展開しています。

自治会という家族

少子化や高齢化、自然災害など、私たちを取り巻く環境は、日に日に変化しています。

近年では、同じ地域に住む人々がそれぞれ違う勤め先をもち、生活スタイルの違いも生まれました。地域はただ住んでいる場所になり、横のつながりはほとんど希薄になっているのかもしれない。

しかし、そこが自分の生まれ育った場所、自分の子



どもを育てる場所、一日の終わりに帰り着いて心身を落着ける場所であることには変わりありません。「遠い親戚より近くの他人」という言葉があるように、いざというときに助けてくれるのは、すぐそばの人という場合もあります。

今、平成23年3月11日に発生した東日本大震災をきっかけに、地域のつながりの重要性が改めて見直されています。お互いが支え合えるような地域のつながりは、すぐには生まれません。長い時間をかけながら、ゆっくりと築いていくことが大切です。

自治会は、地域に住む人と人をつなぐ、大切な組織なのです。地域に住んでいれば、素晴らしいことがたくさんあります。デメリットがあると感じていても、よく考えてみると、地域のつながりという大きなメリットの中で生かされているのです。

大田原市を美しいまちに 花いっぱい運動

毎年、各自治会ごとに話し合い、協力をして、市内のさまざまな場所に花を植えています。フラワーポットや花壇、フラワーロードなど、自治会によって工夫がされており、年に1度、コンクールも開催されます。

昨年のコンクール最優秀賞(①~③)・特別賞(④)
①花壇(深川)②フラワーロード(川上)
③フラワーポット(経塚)④フラワーロード(南金丸)

自治会のさまざまな活動

赤堀西自治会

自主防災組織



インタビュー INTERVIEW

赤堀西自治会長
室井 敏雄 さん むろい・としお

赤堀西の自主防災組織は、自分たちの地域を自分たちで守るため、防犯パトロールで地域を確認をしたり、警察署や消防署などと協力して講座を行ったりしています。

講座は防犯講座と防災講座の2種類あり、秋の防災講座では心肺蘇生法や消火器の使い方などを学びます。このような活動が実際に役立ったという声もききました。

一番近くにいる、同じ地域の中で輪をもっていかなければ、いざというときにどうにもなりません。長く続ければ、多くの人に講座に参加する機会が増えます。続けていくことが大切だと私は思っています。

何かをやるときにみなさんが集まってくれるというのは、本当にありがたいことですね。



①② 消防署の協力を得て、毎年秋に行われる防災講座。消防署への通報の仕方なども確認し、緊急時でも実践できるように取り組んでいます。



③ 通学路点検や防犯パトロールは、組長や班長などがあらかじめ分担して行います。



④ 自治会広報紙「あかにし」。自治会の活動や、地域の様子を伝えます。

須佐木下自治会

志茂の里プラン

地域活性化活動



インタビュー INTERVIEW

須佐木下自治会長
佐藤 貞夫 さん さとう・さだお

須佐木下自治会では、「志茂の里プラン」という活動を行っています。あずま屋を建て、柿や桜などの樹木を植えて、活性化の森を作っています。また、武茂川に魚や蛭がいて、川遊びができるような、私たちが子どもだった頃の環境を作りたいと思っています。

これらの活動は、すぐに成果はできませんが、何もしなければ、何も芽吹きません。私たちは、3年後、5年後のために種をまいているのです。

みんながお人好しだということが、須佐木下の良さだと私は思います。仲間との絆を深めながら、須佐木下の良さをもっとふやしていきたいと思っています。



① まちづくりのための勉強会。市外から先生を招いたり、茂木など、ほかのまちの視察もしています。



②③ 「志茂の里プラン」として、じゃがいも作りに取り組んでいます。PRのためのマスコットキャラクターも作成しました。



④ 草刈り応援隊を結成。公共性のある場所はもちろん、お互いの土地の草刈りも手伝います。

あなたのために、頑張る人がいます。彼らを動かすエネルギーは、互いを思いやる気持ちです。

INTERVIEW

インタビュー



大田原市
区長連絡協議会会長
室井 祐之 さん むろい・すけゆき

大田原市には168の自治会があり、18,728世帯が加入しています。自治会の加入率低下が問題視されている今、どの自治会も、精力的に活動を行っています。

若い人にとって共同作業はなじみがないかもしれませんが、回覧板をまわして、お互いの様子を確認し合うだけでもいいのです。

自治会の活動が、地域内のきずなを深め、より良いまちづくりにつながることを期待しています。



自治公民館長や自治会長が参加しての勉強会。自分の地域のために尽力しています。

片府田自治会



インタビュー INTERVIEW

片府田自治会長
鈴木 作三 さん すずき・さくぞう

片府田地区の育成会は、合併以降、毎年与一まつりに参加しています。

子どもたちも嫌がらず、楽しんで踊っています。祖父母も孫を見に足を運ぶし、踊りきったときの笑顔がなんとも言えません。

ほかにも、片府田には天王山の祭りや、豊年棒、どんと焼きなどの行事があります。

祭りは子どもにとって思い出です。先人が残したものを、何らかの形で残すことで、子どもたちが受け継いでくれたら嬉しいですね。



昨年の与一まつりの流し踊り。笑顔で市内を踊り歩きました。

①大田原市の夏の風物詩 与一まつり。毎年育成会ごとに子どもみこしが作られます。育成会の活動も、自治会からの支援がかかせません。



②宇田川地区のどんと焼き。その年の無病息災を祈ります。

独自のお祭りを開催している自治会や、実行委員や保存会に協力して、お祭りを盛り上げようと活動している自治会もたくさんあります。

お祭りは、地域のつながりと活気を感じられる、歴史と伝統のある行事です。

それを支えることも、自治会の大切な役割といえます。

祭り

笑顔あふれるまちに

その他、自治会の事業・活動

自治会の活動はとても身近なところで、私たちの生活に深くかかわっています。

ACTIVITIES

- (1) 親睦・慶弔
敬老会、婦人会、旅行会などの開催、会員世帯の葬儀手伝い
- (2) 安全な生活を守るための活動
防犯・安全活動、自主防災組織
- (3) 環境整備づくり
ごみステーションの管理、公園・河川・道路の清掃
- (4) 地域福祉の充実
敬老会の協力、各種募金活動
- (5) 青少年健全育成
子ども会、青少年育成会への支援
- (6) 文化と地域学習
文化祭などの祭りの実施・協力
- (7) スポーツと健康づくり
各種スポーツ大会、体育祭の開催
- (8) 地域情報の共有と活用
広報紙の発行、掲示板の設置
- (9) 共同利用施設の整備と住民管理
集会所の建設と維持管理
- (10) 行政との連絡調整
広報紙などの文書の配布・回覧
- (11) その他
総会、役員会などの開催、廃品回収



地区内のごみ拾い活動。ごみステーションの清掃も、自治会で行います。

①平成25年度
両郷地区自治公民館対抗球技大会ソフトボールの部。
練習を重ね、優勝目指して汗を流しました。



複数の自治会が集まって球技大会を行ったり、自治会ごとに運動会を開催したりしています。

また、地区公民館として、子どもからお年寄りまで参加できる、健康づくり活動やレクリエーションなどを行っているところもあります。



②平成24年度川西地区自治公民館対抗バレーボール大会。

スポーツ大会

元気あふれるまちに

TEL (23) 8701

自治会に入るには
自治会への入会は、お住まいの地域の自治会長、班長(組長)にお申し出ください。
自治会長の連絡先が分からない場合は、左記へお問い合わせください。
問い合わせ 大田原市区長連絡協議会事務局(政策推進課内)



大田原市
区長連絡協議会事務局
政策推進課
ふじた まさこ
藤田 昌子さん

自治会は、日々の生活での身近な住民組織です。

住み慣れた地域で安心して暮らし、互いに絆を深めていけるよう、自治会と行政で連携を取り合い、住みよい地域づくりを進めています。